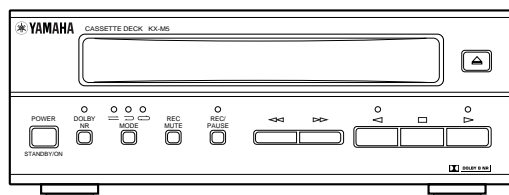




CASSETTE DECK

KX-M5

取扱説明書



このたびは、ヤマハ カセットデッキ KX-M5 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

KX-M5 の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

ご使用前に必ずお読みください

保証書の手続きを
お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

もくじ

ページ

安全上のご注意	2 ~ 3
おもな特長	4
接続のしかた	5
各部の名称	6
テープを聞くには	7
再生の基本操作	7
テープを早く巻き取るには	9
曲の頭出しをするには	9
録音するには	10
録音の基本操作	10
曲の頭出しに便利なテープを つくるには	12
テープについて	13
お手入れするには	14
リモコンについて	15
音楽著作権について	16
故障かな?と思ったら	17
仕様	18
ヤマハホットライン サービスネットワーク	19

はじめに

操作のしかた

ご参考

安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

またお読みになったあと、いつでも取り出せる所に必ず保存してください。










この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告		この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
設置されるとき		使用中に異常が発生したとき	
	本機に水を入れたり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。表示された電源電圧交流100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。		電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 <small>水場での使用禁止</small>	風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。	 	万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
ご使用になるとき			万一、本機を落としたり、キャビネットを損傷した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。本機の通風孔、カセットテープの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様がいるご家庭ではご注意ください。 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。	絵表示の例	
 <small>分解禁止</small>	本機のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。	 <small>指を挟まれないよう注意</small>	
		 <small>分解禁止</small>	㊄記号は禁止の行為であることを告げるものです。
			記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

設置されるとき		ご使用になるとき	
	<p>湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p> <p>電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。 ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。 	 <p>接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続には指定のコードを使用してください。</p> <p>電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>	 <p>お子様がテープ挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。</p>
	 <p>指を挟まれないよう注意</p>	 <p>旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。</p>	
		お手入れについて	
 <p>本機を設置する場合は、放熱をよくするために他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまを開けてください。</p>	 <p>1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。</p>		
 <p>移動する場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、カセットテープは取り出しておいてください。それを怠ると故障の原因となることがあります。</p>	 <p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</p>		

安全上の注意

おもな特長

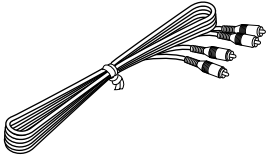
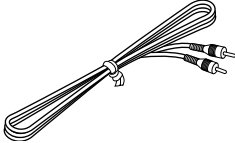
ドルビーB NRの搭載によるヒスノイズの少ない再生・録音
両面連続再生ができるリバースメカニズム
テープの種類(ノーマル/ハイ)を自動的に判断するオートテープセクター

前後1曲頭出し
録音時に4秒間の無録音部分をつくる
レックミュート

はじめに、次のことをお確かめください。

- 1 保証書にお買い上げ店名を記入してもらいましたか。
- 2 付属品はすべてそろっていますか。

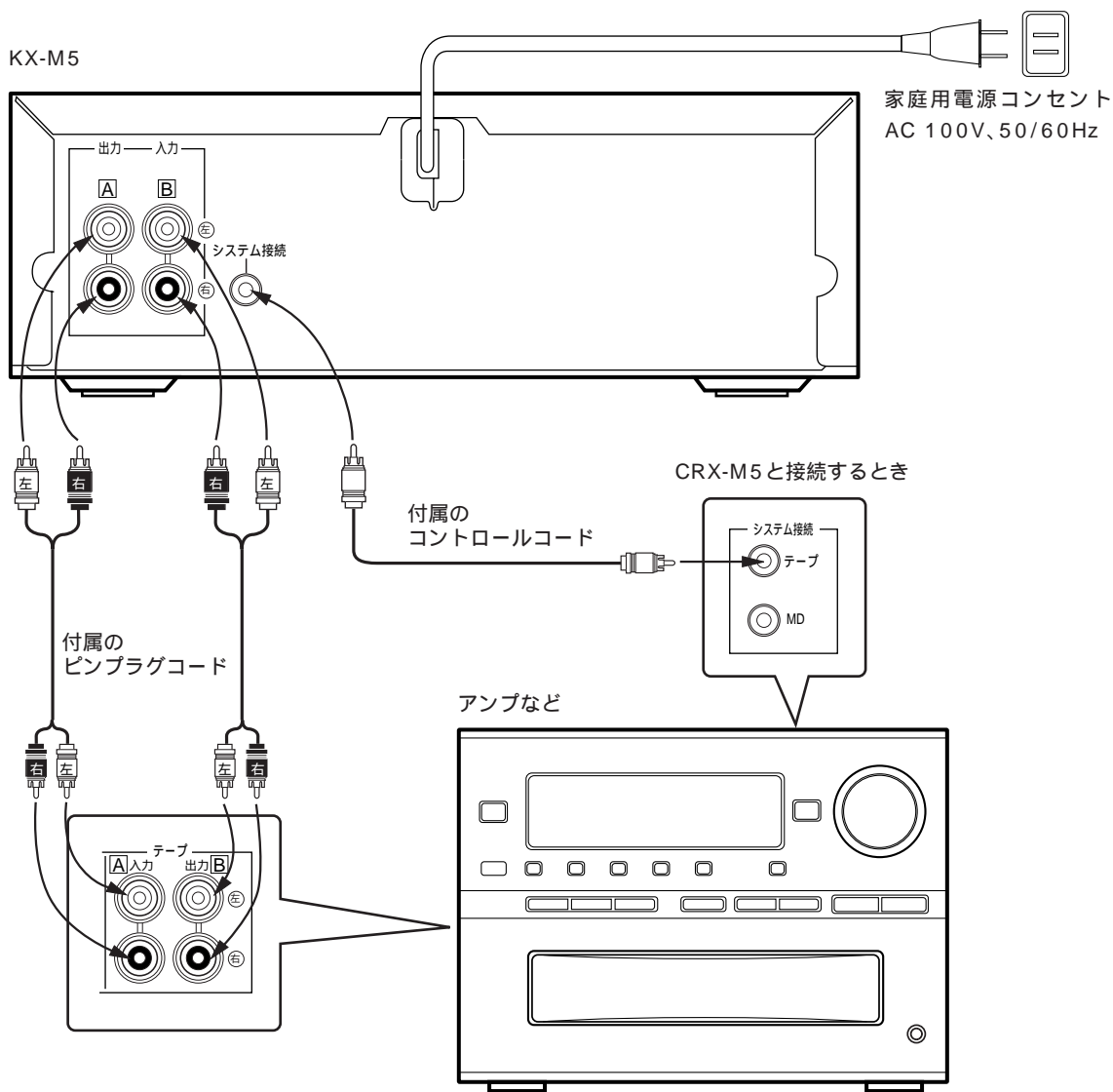
付属品

<p>ピンプラグコード × 2</p> 	<p>コントロールコード × 1</p> 	<p>取扱説明書 × 1 保証書 × 1</p>
---	--	------------------------------

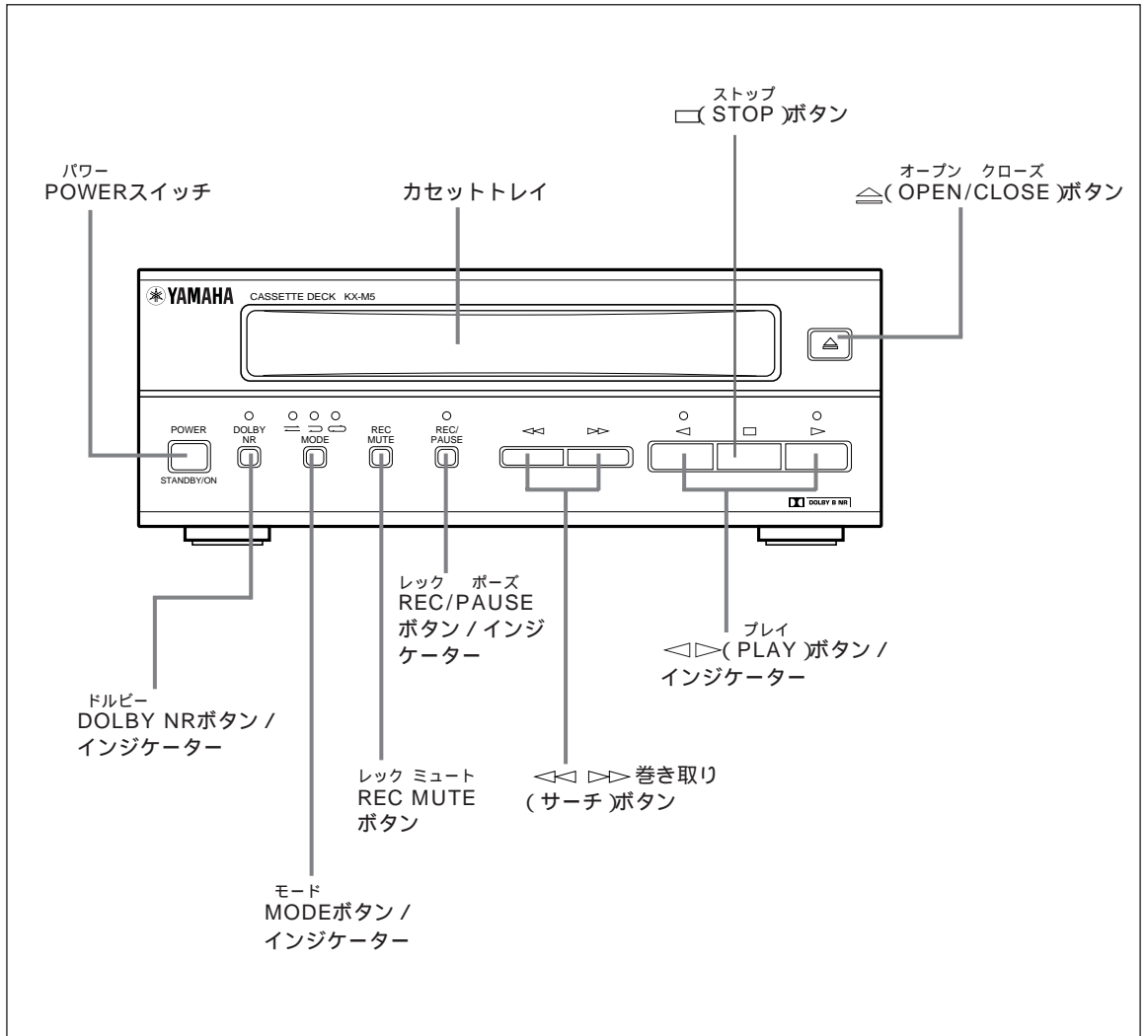
接続のしかた

接続の際は各機器の電源を切り、右チャンネル(右)、左チャンネル(左)を確認し、付属のピンプラグコードで確実に接続してください。接続するアンプによっては端子名などが異なります。接続するアンプの取扱説明書も参照してください。

ヤマハCDチェンジャーレシーバCRX-M5と接続するときは、各機器と本機の[A]と[B]の番号がついた端子どうしを接続してください。接続が完了したら、電源コードを家庭用電源コンセントまたはアンプなどの背面の電源コンセントに差し込んでください。

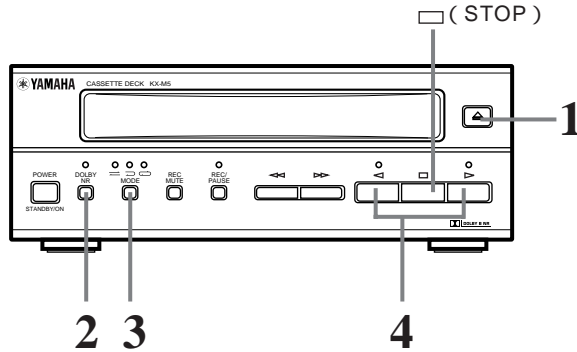


各部の名称



テープを聞くには

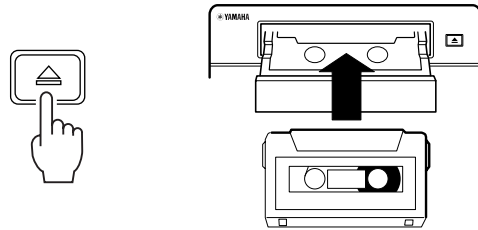
再生の基本操作



1 テープを入れる

△ボタンを押し、トレイにテープののせてから、△ボタンを押し

テープがじかに出ている面を奥にして入れてください。



2 ドルビーNRを選ぶ

DOLBY NRボタンを押すたびに、ドルビーのオンとオフが切り換わる

ドルビー NRについては、8ページを参照してください。



DOLBY NR オン (インジケータ点灯)	ドルビー-B NR録音されているテープ
DOLBY NR オフ (インジケータ消灯)	ドルビー-NR録音されていないテープ

3 テープの走行モードを選ぶ

MODEボタンを押すたびに、テープの走行モードが切り換わる

▷モード時に裏の面から再生すると、その面のテープエンドで止まります。

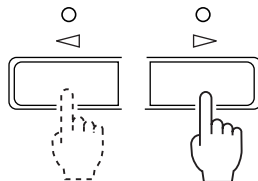


☀	片面だけを再生するとき
☀ ↓ ☀	表の面から裏の面を1回だけ再生するとき
☀ ↓ ☀ ↓ ☀	両面を繰り返して再生するとき

4 聞きたい面を再生する

▷または◁ボタンを押し

▷	表の面を再生するとき
◁	裏の面を再生するとき



再生中は▷または◁インジケータが点灯します。

テープを聞くには

テープを止めるには

□ (STOP) ボタンを押す

テープを取り出すときのご注意

□ STOPボタンを押して停止状態にしてから ≡ ボタンを押し、テープを取り出してください。

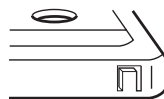
音量を調節するには

接続したアンプ側でおこないます。

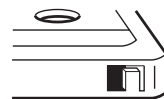
オートテープセレクト機構について

テープの検知孔によって、ノーマルテープ、クロームテープを自動的に判別するようになっています。

ノーマルテープ



クロームテープ



↑
検知孔

ドルビーNRについて

カセットテープを再生すると、“サーッ”というテープヒスノイズが聴こえます。耳障りなこのテープヒスノイズを減らすため、本機ではDOLBY NRシステムのBタイプを採用しています。ドルビーB NRでは高域周波数において約1/3(10 dB)の改善効果が得られます。

ドルビーNRシステムは、録音・再生を通じてノイズを低減しますので、再生または録音時のみDOLBY NRを使用してもノイズを減らすことはできません。

□ □ DOLBY B NR

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーライセンスリングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD 記号Vはドルビーラボラトリーライセンスリングコーポレーションの登録商標です。

音楽のエチケット



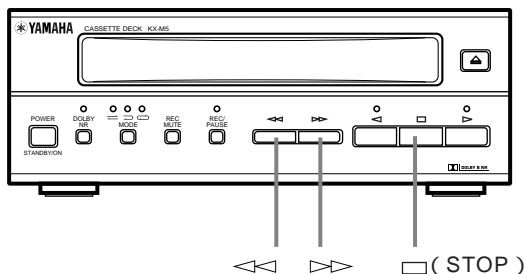
楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気を付けましょう。

夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。

ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう、音量を小さくしてお楽しみください。

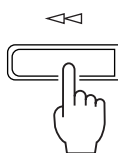
テープを早く巻き取るには

曲の頭出しをするには (自動頭出し演奏)

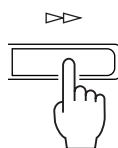


停止中に ◀◀ または ▶▶ ボタンを押す

表面の先頭まで巻き取るとき



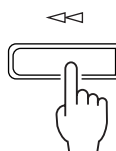
裏面の先頭まで巻き取るとき



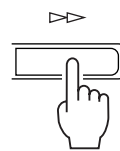
止めたいところで □ (STOP) ボタンを押します。

再生中に ◀◀ または ▶▶ ボタンを押す

表の面を聞いているとき
(▶▶ インジケーターが点灯)

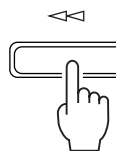


今の曲の頭へ

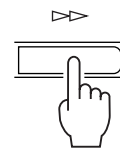


次の曲の頭へ

裏の面を聞いているとき
(◀◀ インジケーターが点灯)



次の曲の頭へ



今の曲の頭へ

頭出し中は、◀◀ または ▶▶ インジケーターがゆっくり点滅します。

次のようなテープを使うと、自動頭出し演奏が正しく動作しないことがあります。

録音レベルが低すぎたり（音が小さい）、会話など音声がとぎれているとき。

テープの曲間（無音部）が4秒以下のとき。

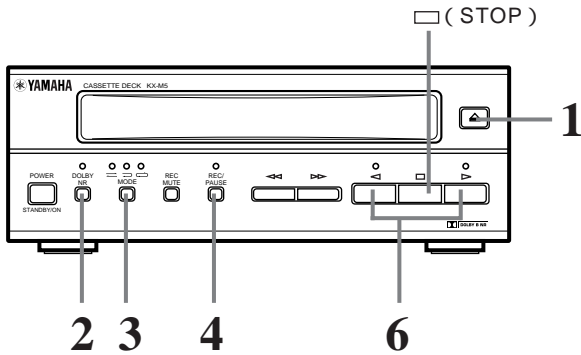
音が非常に小さい部分が長く続く曲や、演奏や歌声が全く入っていない部分があるとき。

曲間に大きな雑音が録音されているとき。

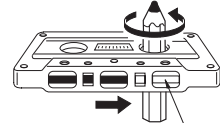
曲の始めの部分や終わりの部分で頭出しすると、1つ目の無録音部分でテープが止まらないことがあります。

録音するには

録音の基本操作



テープの始めの録音できない部分は、あらかじめ巻き取っておいてください。

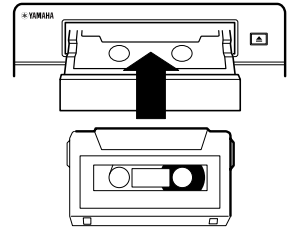


録音できない部分

1 録音用のテープを入れる

△ ボタンを押し、トレイにテープをのせてから、△ ボタンを押す

テープがじかに出ている面を奥にして入れてください。



2 ドルビー-NRを選ぶ

DOLBY NRボタンを押すたびに、ドルビーのオンとオフが切り換わる

ドルビー-NRについては、8ページを参照してください。

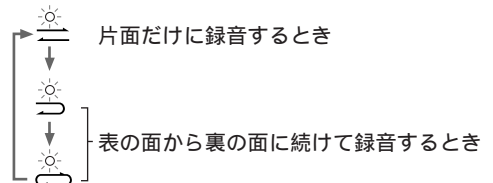


DOLBY NR オン (インジケーター点灯)	ドルビー-NR録音する
DOLBY NR オフ (インジケーター消灯)	ドルビー-NR録音しない

3 テープの走行モードを選ぶ

MODEボタンを押すたびに、テープの走行モードが切り換わる

□モード時に裏の面から再生すると、その面のテープエンドで止まります。



4 録音待機状態にする

REC/PAUSEボタンを押す
REC/PAUSEインジケーターと◀▶インジケーターが点滅します。

録音待機状態を解除するには□ (STOP) ボタンを押します。



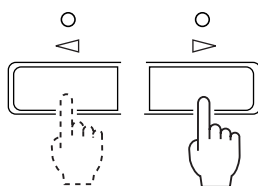
5 録音したいソースを再生する

ヤマハのCDチェンジャーレシーバCRX-M5を本機に接続している場合は、CDの再生が始まると自動的にテープの録音も始まります。

6 録音をスタートさせる

▷または◁ボタンを押す

▷	表の面に録音するとき
◁	裏の面に録音するとき



録音中はREC/PAUSEインジケータと▷または◁インジケータが点灯します。

録音を一時的に止めるには

REC/PAUSEボタンを押す

テープが止まり録音の待機状態になり、REC/PAUSEインジケータが点滅します。

再び録音を始めたいときは、もう一度REC/PAUSEボタンを押すか、▷または◁ボタンを押します。

録音を止めるには

□(STOP)ボタンを押す

ご注意

本機ではメタルテープでの録音はできません。大切な録音をされる前に、あらかじめ試し録音で間違いなく録音されることを確かめましょう。

万一、本機およびカセットテープなどの不具合により、正常に録音されなかったり、再生できなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(16ページ)

メモ

CDを録音するときは

ヤマハのCDチェンジャーレシーバCRX-M5を本機に接続している場合は、CDレシーバーの再生に本機を連動させてテープ録音することができます(CDシンクロ録音)。

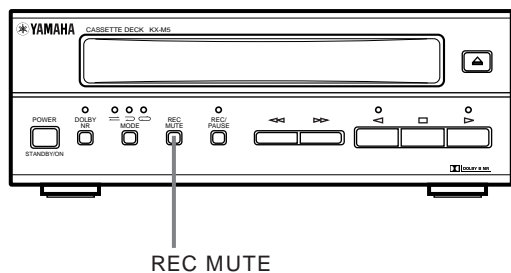
詳しくはCDレシーバーの取扱説明書をご覧ください

録音レベル(音量)は、自動録音レベル(ALC)回路によって、自動的に調整されます。

録音するには

曲の頭出しに便利なテープをつくるには

曲と曲の間に無録音部分(4秒間)をつくっておくと、再生するときには頭出しができます。



録音中、無録音部分を入れたいところでREC MUTEボタンを押す



REC/PAUSEインジケータが点滅し、4秒間の無録音部分を自動的につくったあと、録音の待機状態になります(インジケータがゆっくり点滅)。再び録音を始めるには、録音している面のPLAYボタン(▷または◁)を押します。

テープについて

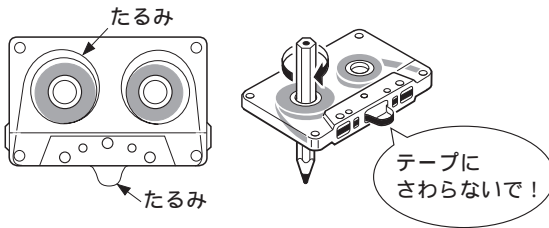
取り扱いについて

C-120 テープや一部のリール付デザインのテープは薄く伸びやすいためできるだけ使用しないでください。

テープが機械に巻き込まれる場合がありますので注意してください。

テープをお使いになる前に、たるみがないか、シワが入っていないか確かめてください。テープのたるみは鉛筆やボールペンなどで巻き取ってください。

たるみやシワのあるテープを使うと、テープが切れたり、機械に巻きついたりすることがあります。



避けてほしい保管場所

直射日光が長時間あたる所(特に密閉した自動車内など)

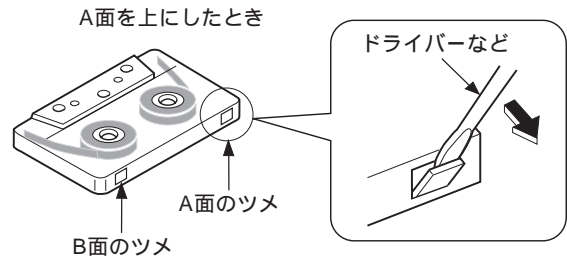
暖房器具の近く

ほこりや湿気の多い所

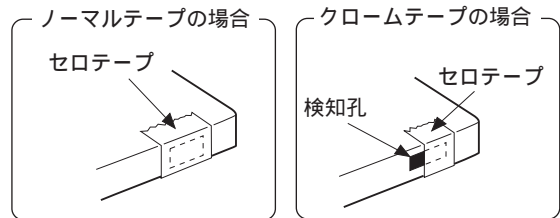
磁気のある所(スピーカーの近くやテレビの上など)

大切な録音を誤って消さないために

テープの消去防止用のツメを折って取りのぞいておくと、録音ができなくなり大切な録音をあやまって消すことはありません。



もう一度録音したり、録音を消したいときは、ツメを折った部分を、セロテープなどでふさぎます。



オートテープセレクト機構はテープの検知孔によって判别しますので、クロームテープの穴をふさぐ場合は、ツメがあった部分だけをふさいてください。

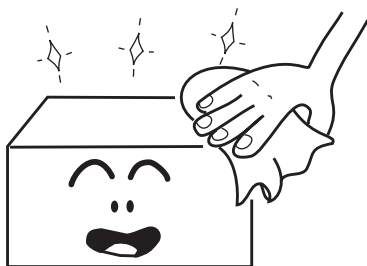
お手入れするには

お手入れの際は、電源コードをコンセントからはずしてください。

本体 / リモコン

ふつうの汚れは、やわらかい布で軽くふきとってください。

汚れがひどいときは水でうすめた洗剤を布にふくませ、よくしぼってふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。



ご 注 意

ベンジン、シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので使わないでください。



ヘッド

<ヘッド部の清掃>

良い音で録音や再生を楽しむために、およそ15時間使用すごとに清掃してください。市販のクリーニング液か、アルコールを含ませた綿棒でテープの触れる面を軽くふきます。

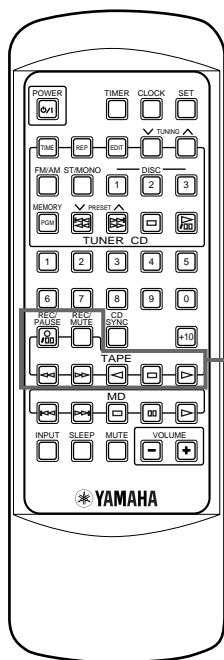
<ヘッド部の消磁>

長い間使っていたり、ヘッド部に磁気を帯びたものが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をすると、雑音が入ります。20～30時間使用をめやすに、市販の消磁器を使って消磁してください。

油をささないでください。故障の原因になります。

リモコンについて

本機は、ヤマハCDチェンジャーレシーバCRX-M5に付属のリモコンによって操作することができます。リモコンは、CDチェンジャーレシーバに向けて操作してください。



本機の操作には、この部分のボタンを使用します。

- プレイ
◀▶ PLAYボタン：再生をスタートさせます
- ストップ
□ STOPボタン：再生または録音の停止をします
- ◀▶ 早巻き(サーチ)ボタン：早送りをします
- レック ポーズ
○/□ REC/PAUSEボタン：録音一時停止状態になります
- レック ミュート
REC MUTEボタン：録音中に無録音部分を作るときに押します

音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は、著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

1. 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープを売る、配る、譲る、貸すときなど。
2. 営利(店のBGMなど)のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

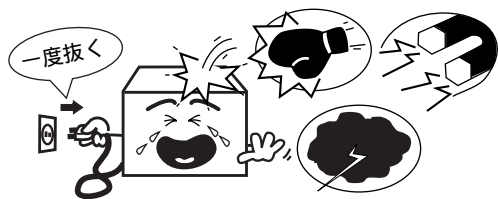
日本著作権協会

本部	(03) 3502-6551	北陸支部	(0762) 21-3602
北海道支部	(011) 221-5088	京都支部	(075) 251-0134
盛岡支部	(0196) 52-3201	大阪支部	(06) 244-0351
仙台支部	(022) 264-2266	神戸支部	(078) 322-0561
大宮支部	(048) 643-5461	中国支部	(082) 249-6362
東京支部	(03) 3562-4455	四国支部	(0878) 21-9191
西東京支部	(03) 3232-8301	九州支部	(092) 441-2285
横浜支部	(045) 662-6551	鹿児島支部	(0992) 24-6211
静岡支部	(054) 254-2621	那覇出張所	(098) 863-1228
中部支部	(052) 586-1155		

詳しい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部または最寄りの支部へお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やアフターサービスをお申し付けになる前にあらかじめお調べください。



この製品を使用中に、強い外来ノイズ(衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけないなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、いったん電源差し込みプラグを抜き、約30秒後に再びつないで操作をやり直してみてください。

こんなとき

ここをおたしかめください

参照ページ

録音 / 再生時にテープが回らない	電源コードがはずれていませんか？	5
録音できない。	カセットテープの消去防止用のツメが取り除かれていませんか？ カセットテープが入っていますか？	13
再生時の音質が悪い。	録音時と同じドルビーNRを選択していますか？	7
音がかすれたり、とぎれたりする。高音が出ない。	テープにシワがあったり、伸びたりしていませんか？ ヘッド部が汚れていませんか？ ヘッド部が帯磁していませんか？	13 14
音が不安定。	テープがたるんでいませんか？ ヘッド部が汚れていませんか？	13 14
雑音が入る。	他の電器製品(テレビ、蛍光灯、電気毛布)の近くに設置していませんか？	—
リモコンが正しく動作しない。	CDレシーバーの受信部に正しく向けていますか？	15

仕様

型式	オートリバース / 水平ローディング方式 4トラック2チャンネル 再生 / 録音ステレオカセットデッキ
ヘッド	録再 ハードパーマロイ×1 消去 ダブルギャップフェライト×1
テープスピード	4.76 cm/sec
ノイズリダクション	Dolby B type NR
電源電圧	AC 100V 50/60Hz
消費電力	13W
寸法 (幅)×(高さ)×(奥行)	200 × 75 × 312mm
重量	2.6kg

付属品

ピンプラグコード × 2
コントロールコード × 1
取扱説明書 × 1
保証書 × 1

仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本機は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

- 北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512-6108
- 仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7
仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236-0249
- 首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434-3100
- 東京 (お持ち込み修理のみ取扱い)
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL (03) 5488-6625
- 浜松 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
TEL (053) 465-6711
- 名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652-2230
- 大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 877-5262
- 広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874-3787
- 四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック神戸高松店内
TEL (087) 822-3045
- 九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472-2134

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？

電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
電源コードに深いキズが変形がある。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源を入れても正常に作動しない。
その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL (053) 460-3451

品質保証室 TEL (053) 460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口

AVお客様ご相談センター

TEL (03) 5488-5500

